Kashimura

# 取扱説明書　KD-259 バイク用空気圧センサー

## 同梱品一覧

※開梱したら、同梱品がすべてそろっていること、本製品に損傷がないことを確認してください。万一、不足や不良がある場合は、弊社又は、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

**【送信センサー】**（2 個）
※電池が内蔵しています。

**【ナット】**（2 個）
※脱落防止用ナット

**【専用レンチ】**

## 製品仕様

**【送信センサー】**

送信周波数：2.4GHz
※電波法認証品
送信距離：10m
※車種、保管場所によって、送信距離は異なります。
電源：CR1632 電池 ×2 個
動作温度範囲：0℃～40℃
送信センサーバルブの IP 等級：IP67

製品寸法：W21 ×H17 × D21mm
製品重量：8g ※電池含む
連続使用日数：約 10 ヶ月
※使用環境により異なります。
※付属の電池はモニター電池です。

ver 1.1

# 各部の名称について

※iPhone(iOS) 端末の画像例

登録車両名

登録車両
※複数台の登録ができます。

システム設定

警告アラーム作動時

タイヤと空気圧が赤く点灯します。

リヤタイヤの電池残量表示

フロントタイヤの電池残量表示

リヤタイヤの空気圧

フロントタイヤの空気圧

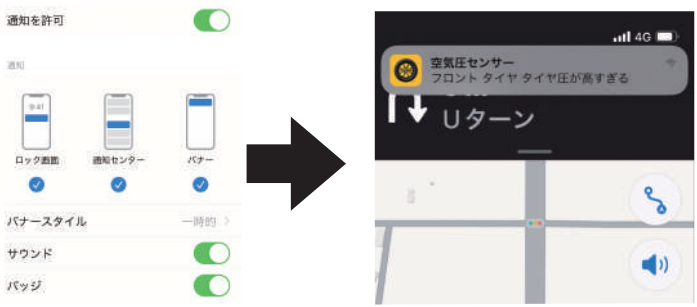
リヤタイヤバルブ温度

フロントタイヤバルブ温度

# ロック画面、通知センターの表示について

**ロック画面、通知センターに通知表示することができます。**
**スマートフォンの設定アプリ内、空気圧センサーをタップし、表示内容を変更してください。**

※Android アプリは
設定→通知設定にて
変更ができます。



# 専用アプリ（空気圧センサー）のインストール

対応アプリ

**【 空気圧センサーアプリをインストールする 】**

App Store でダウンロード

https://apps.apple.com/jp/app/%E7%A9%BA%E6%B0%97%E5%9C%A7%E3%82%BB%E3%83%B3%E3%82%B5%E3%83%BC/id6476663875

Google Play でダウンロード

https://play.google.com/store/apps/details?id=com.malide.tpmsconnectja&hl=ja&gl=US

## 1 スマートフォンにアプリをインストールします。

iPhone は App Store、Android は Google Play ストアを選択してください。
※アプリの検索、アプリのダウンロードは、モバイルデータ通信、Wifi での通信が必要になります。

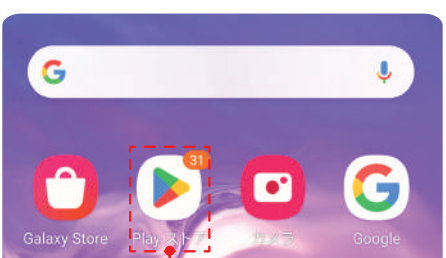
### iPhone(iOS) 端末の操作例

App Store アプリを タップ

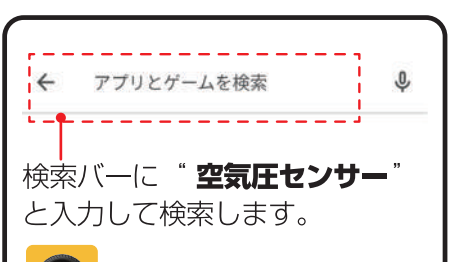
検索バーに “ **空気圧センサー** ” と入力して検索します。

アプリをインストール

### Androidスマートフォンの操作例




Play ストア アプリをタップ




検索バーに “ **空気圧センサー** ” と入力して検索します。

アプリをインストール

※アカウントにログインしていないとアプリをインストールすることができません。
iPhone は Apple ID、Android は Google アカウントにログインしてください。

## ❷ スマートフォンの Bluetooth 機能を ON にしてください。

### iPhone(iOS) 端末の操作例

待受画面の状態から
下側へスワイプします。

Bluetooth マークを
タップします。

### Androidスマートフォンの操作例

待受画面の状態から
下側へスワイプします。

Bluetooth マークを
タップします。

※iPhone、スマートフォンの機種、OS のバージョンによって、Bluetooth 機能 ON-OFF の表示場所が異なる場合があります。詳しくは各端末の取り扱い説明書をご確認ください。

# 取り付け方法、初期設定

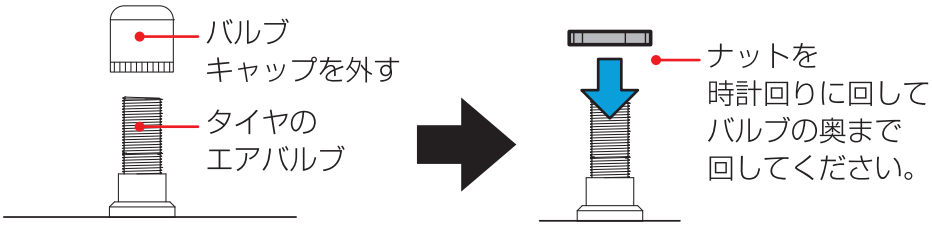
**スマートフォンより、取付け方法、設定方法を動画でご覧いただけます。**

※電話、メール等での取付け作業に関する対応はできかねます。

## 【送信センサーをタイヤに取り付ける】

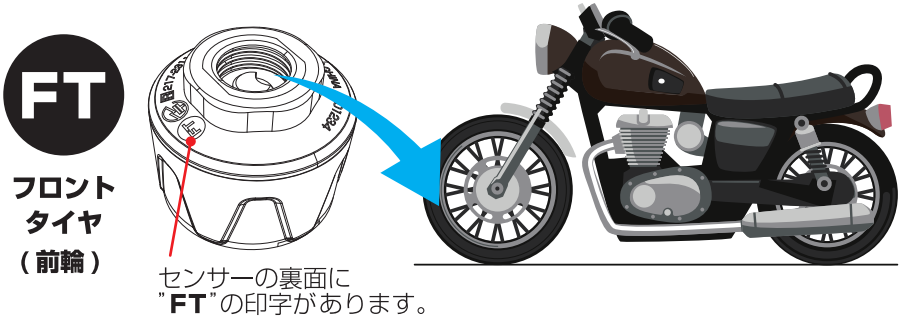
**1 フロントタイヤのバルブキャップを外し、ナットを奥まで挿入してください。**

※送信センサーを装着の際、バルブに水分が付着した状態で装着すると、送信センサーが故障する恐れがあります。装着部をしっかりと乾燥させてから取り付けてください。




**2 フロントタイヤ（前輪）用の送信センサ＿を準備します。**

※送信センサーをしっかりとタイヤのバルブに装着されていないと空気が漏れます。

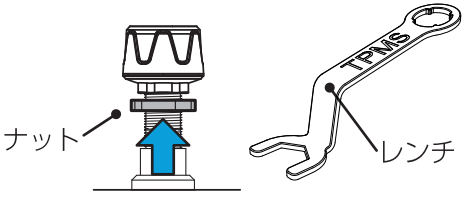



**3 送信センサーを時計回りに回してしっかりと締め付けてください。**

※締め付けが緩いと送信センサーの脱落の原因になります。

**4 ナットを反時計に回した後、専用のレンチでしっかりと締め付けてください。**

**バルブと送信センサーの付近に石鹸水をかけて、空気漏れがないか、確認をしてください。**



## 【APP を起動し、車両名を登録する】

**5** **アプリをタップし、起動します。**

空気圧センサーアプリを
タップして起動します。

**6** **車両名を入力します。**
※車両名をデフォルトのままで登録したい場合は、そのまま右上をタップしてください。

バイクのアイコンをタップします。

車両名を入力します。

## 【ペアリング設定をする】

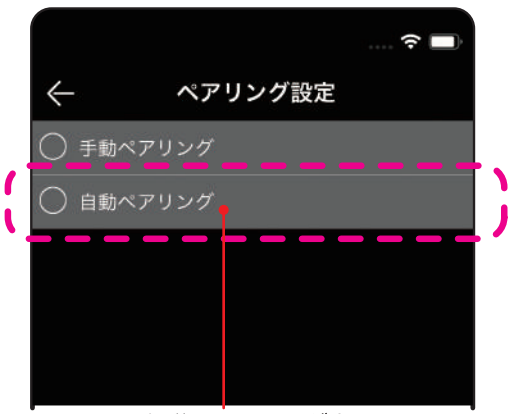
**7** **右上の システム設定アイコンをタップします。**

システム設定 アイコンを
タップします。

**8** **ペアリング設定をタップします。**

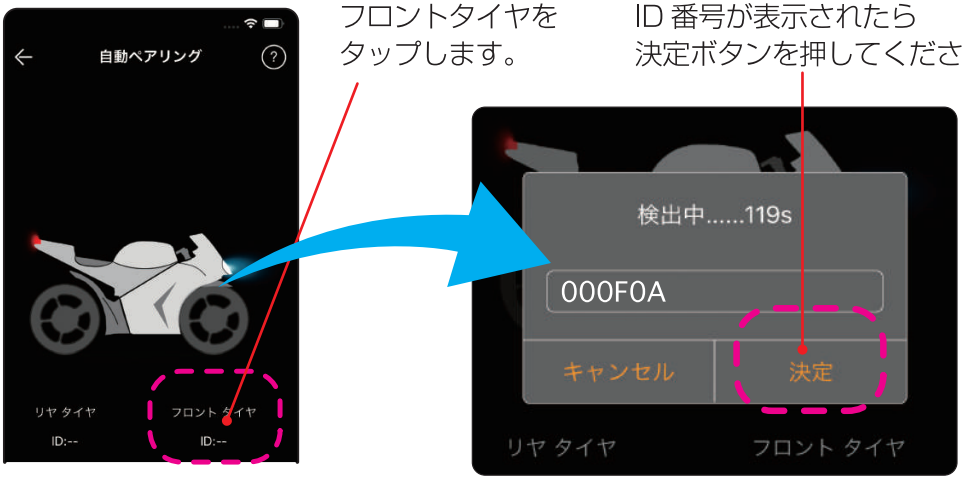
ペアリング設定を
タップします。

**9** **自動ペアリングをタップします。**




自動ペアリングを
タップします。

## 10 フロントタイヤをタップし、検出中の画面に ID 番号が表示されたら、決定ボタンをタップします。



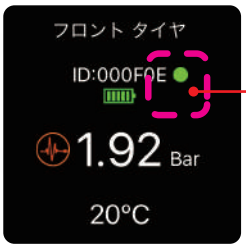

フロントタイヤをタップします。

ID 番号が表示されたら決定ボタンを押してください。

## 11 左上の ← マークをタップして測定画面に戻り、しばらくするとインジケータが●緑色点灯後、自動で最新の空気圧、温度に更新されます。

※空気圧、温度が表示されない場合、測定画面の状態から、インジケータの色が●緑色であることを確認し、画面の上部を下側へスワイプすると最新の空気圧、温度に更新されます。

※走行中の場合は、自動で空気圧、温度情報が更新されます。




インジケータ

● 接続中　● 検索中

● 未接続

※スワイプしてもインジケータが●緑色とならない場合、スマートフォンと車両との距離が遠い、又は、電波環境によって正常に通信されない場合があります。

※端末によって、Bluetooth のペアリング要求がされる場合があります。その場合はペアリングをタップしてください。

**12** RTマークが刻印された送信センサーをリヤタイヤ（後輪）に取り付けた後、フロントタイヤと同じ手順で設定を行ってください。

# 各種アラーム設定、空気圧単位の変更

## 【ハイプレッシャー、ロープレッシャーアラーム、高温度アラームを設定する】

走行中又は、ガレージに保管中のタイヤの状態により、異常があった場合、アラームでお知らせする機能です。

**1** アプリをタップして起動し、車両のアイコンをタップします。

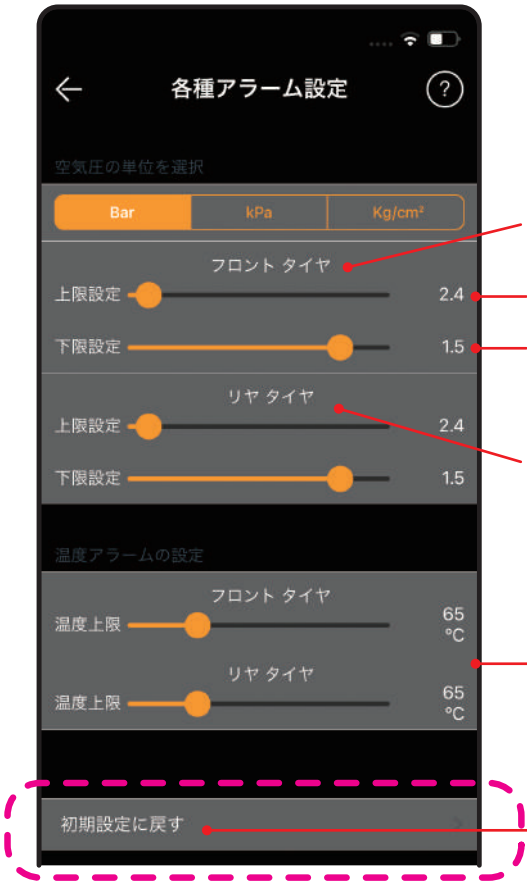
**2** 右上の システム設定アイコンをタップします。

システム設定 アイコンを
タップします。

**3** 各種アラーム設定をタップします。

各種アラーム設定を
タップします。

**4** **フロントタイヤ、リヤタイヤの各設定バーを左右にスワイプして、ハイプレッシャー（高空気圧）、ロープレッシャー（低空気圧）アラーム、高温度アラームを設定します。**




**前輪**
フロントタイヤ（FT）

ハイプレッシャーアラーム（上限設定）

ロープレッシャーアラーム（下限設定）

**後輪**
リヤタイヤ（RT）

高温度アラーム（上限設定）

各種アラーム設定値を初期設定に戻したい場合はここをタップしてください。

## 【空気圧単位を変更する】

Bar、kPa、Kg/㎠の各アイコンをタップすると変更できます。

※Psi の単位変更はできません。

# 送信センサーの位置を変更する

送信センサーキャップを取り付け後、送信センサーの前後位置を変更したい時に使用する機能です。お買い求めの際に、必ず設定する必要はありません。

**❶ システム設定のタイヤ位置の変更をタップします。**

タイヤ位置の変更をタップします。

**❷ 交換したい タイヤの ID 部分をダブルタップして黄色になった後、交換先のタイヤを 1 回タップします。**

**ダブルタップ**
(2 回タップ)

# 送信センサーの再登録

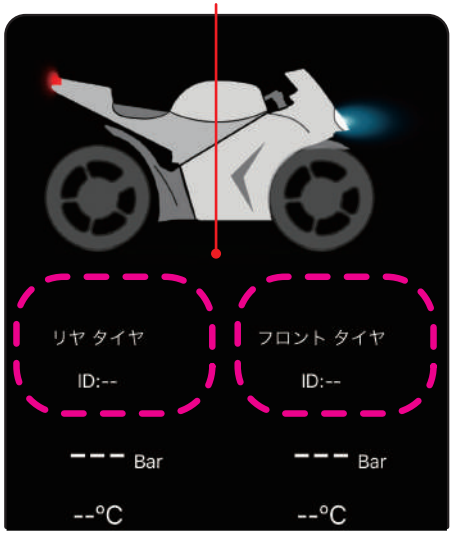
初期設定の自動ペアリング設定が成功しない場合に使用する機能です。

**❶ ペアリング設定の手動ペアリングをタップします。**

ペアリング設定を
タップします。

**❷ 再登録したい方のタイヤをタップし、送信センサーの ID 番号を入力後、決定ボタンをタップします。**

再登録したい方のタイヤをタップします。



センサーキャップ裏面の ID 番号を入力し、
決定ボタンをタップしてください。

記入例：
000F0D

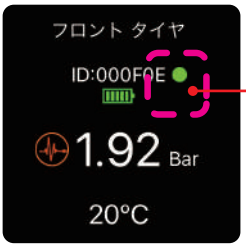
※ID 番号のアルファベットの**大文字**、**小文字**に注意して入力ください。

**❸ エアバルブに送信センサーを取り付けます。**

※センサーの取り付け方法は裏面をお読みください。

**❹ 測定画面に戻り、しばらくすると自動で空気圧、温度が表示されます。**

※表示されない場合は、インジケータの色が🟢緑色に点灯後、画面の上部をスワイプすると、最新の空気圧、温度が表示されます。




インジケータ
- 🟢 接続中
- 🔴 未接続
- 🟡 検索中

※インジケータの色が🟡黄色、🔴赤色の状態からスワイプすると、空気圧、温度の情報が更新されません。

# 空気圧、温度情報を更新する

**1** **車両にスマートフォンを 1m 以内に近づけます。**

**2** **測定画面の状態から、インジケータの色が●緑色であることを確認し、画面の上部を下側へスワイプすると最新の空気圧、温度に更新されます。**

※走行中の場合は、自動で空気圧、温度情報が更新されます。

インジケータ

● 接続中　● 検索中

● 未接続

※スワイプしてもインジケータが●緑色とならない場合、スマートフォンと車両との距離が遠い、又は、電波環境によって正常に通信されない場合があります。

# アラーム音を OFF にする

アラームを OFF にするとアラーム音を消すことができます。

# 空気圧の単位について

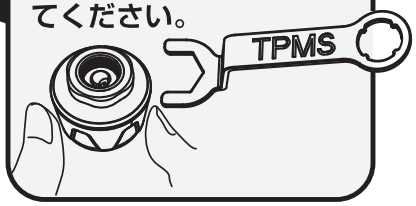
純正タイヤの指定空気圧は車両のスイングアーム、又はチェーンガードに表示されています。または、車両の取り扱い説明書をご確認ください。本製品は Psi の単位表示はできません。車両の取り扱い説明書を参考にしてください。

# 送信センサーの電池を交換する

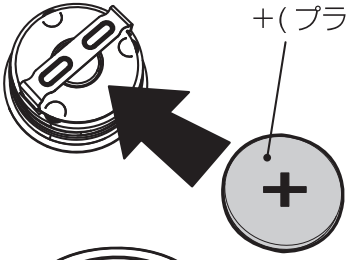
お買い求めの際は、送信センサーに電池が入っておりますので、そのまま利用いただけます。専用アプリで画面上に表示される電池交換のマークが表示されたら、全ての電池を交換することをおすすめします。

**❶ センサーキャップを反時計周りに回して外してください。**

**回しにくい場合は、センサーキャップを持ち、付属の専用レンチで回してください。**

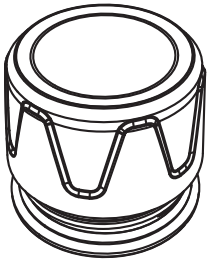



**❷ CR1632 電池を＋( プラス ) 面を上にして奥まで差し込みます。**




**❸ センサーキャップを時計回りに回してしっかりとすき間なく閉めてください。**

**注意！**
**センサーキャップの締め付けがあまいと水が侵入し、故障の原因となります。**



# メンテナンスについて

降雪エリアでご使用の場合、融雪剤が送信センサーとナットに固着して送信センサーが外れなくなる可能性がございます。定期的にエアバルブから送信センサーとナットを外し、融雪剤、その他の汚れを取り除いてください。

# 安全上のご注意

●本製品は無理な操作・使用すると正常に動作しなくなる場合があります。●本製品はタイヤのバースト（パンク）を防止するものではありません。万が一バーストしても弊社は一切の責任を負いかねます。●本製品は一般公道での使用を前提に設計されており、サーキット走行等の過酷な条件下でのご使用はご遠慮ください。●本製品は、二輪車用のため、四輪車、三輪車などには対応しておりません。●走行中でのスマートフォンの操作は大変危険です。絶対におやめください。●本製品はセンサー電池の寿命を長くするため（電池の使用量を抑えるため）、一定時間（約 10 分程度）停車状態が続くと、省電力モードになります。省電力モードは本機を取り付けた車両が時速 20km 程度以上になると自動的にセンサーからのデータ送信を行い、データの更新を再開します。●タイヤの空気圧と温度は、天気や時間、走行する道路のコンディションによって異なります。特に運転直後の空気圧、温度が変動することは、通常の現象です。・タイヤ圧力は時間の経過によって自然に減少していくものであり、その減少は本製品とは無関係です。●振動などで送信センサーが外れないようにしっかりと取り付けてください。日常点検や定期点検、送信センサーの緩み、タイヤの目視による確認を併用して頂くようお願いします。●送信センサー取り付け時はセンサーを奥までしっかりと締めてください。ただし、きつく閉めすぎるとバルブやセンサーのゴムパッキンに損傷をきたすことがありますので十分に気をつけて設置してください。●センサーの電池の蓋はねじ山に対してまっすぐであることを確かめて閉めてください。斜めに曲がったまま閉めると蓋が閉まらなくなる場合があります。●センサーの設置完了後、センサー部から空気が出ないことを石鹸水などを使用して確認してください。

# 使用する電波について

●本製品は国内電波法に適合しておりますが、ご使用前に以下の事を確認してください。本製品は 2.4GHz 帯域の電波を使用しています。本製品を使用する上で無線局の免許は必要ありませんが、以下の場合や製品の近 くでは使用しないでください。病院内・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所・電子レンジ・ペースメーカーなどの産業・科学・医療用機器、自動ドア・火災報知器など工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）特定省電力無線局（免許を要しない無線局）＊IEEE802.11b ／ g 無線 LAN 機器 上記の機器などは Bluetooth と同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると電波の干渉が生じるおそれがあります。本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器などのほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定省電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。●端末とは見通し距離で約 10m 以内で通信してください。建物の 構造や障害物によっては通信距離が短くなる場合があります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。●電気製品（AV 機器 OA 機器 電子レンジなど）から 3m 以上 離して通信してください。テレビやラジオなどをご使用の場合は、受信障害になる場合があります。●無線機や放送局の近くなどで正常に通信ができない場合は通信場所を変更してください。

# 故障かな？と思ったら

以下の処置をしても解決しない場合は事故防止のため、使用を中止してください。

| 症　状 | 考えられる原因 | 処　置 |
|---|---|---|
| ペアリングできない | Bluetooth 機能が OFF になっている | スマートフォンの Bluetooth 機能を ON にしてください。 |
| 空気圧、温度情報が更新されない | 走行していない | 時速 20km 以上の走行すると自動で更新します。 |
| | 停車中の状態で更新操作をしていない | 測定画面の状態より、下側へスワイプすることで手動で更新します。 |
| 温度、空気圧のアラームが鳴る | 各種アラームの設定値が高い又は低い。 | タイヤの状態を確認し、各種アラームの設定値を見直ししてください。 |